

## 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

### 事業名 グローカル探究実践事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校支援課 総合支援第二係 電話番号：058-272-1111(内8669)

E-mail：c17782@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,500 千円 (前年度予算額：7,500 千円)

#### <財源内訳>

| 区 分 | 事業費   | 財 源 内 訳    |            |            |            |     |     |     |            |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
|     |       | 国 庫<br>支出金 | 分担金<br>負担金 | 使用料<br>手数料 | 財 産<br>収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般<br>財 源 |
| 前年度 | 7,500 | 3,484      | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 4,016      |
| 要求額 | 7,500 | 3,484      | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 4,016      |
| 決定額 |       |            |            |            |            |     |     |     |            |

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

AIやIoT等の急速な発展により社会が激しく変化する中、文系・理系という枠にとられず、5つの領域の学び（STEAM教育＝Science、Technology、Engineering、Liberal Arts、Mathematics）を統合して深く探究し、課題の発見・解決や社会的な価値を創造する資質・能力を育成する取組が必要とされている。

### (2) 事業内容

国内外の教育機関や専門性が高い機関、さらに、国際的な企業や地域の関係者など、今まで以上に幅広い外部機関・関係者と連携し、より高度な知見・専門性に基づいて、教科横断的・探究的な学習を実施し、「ふるさと教育」を推進する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

県負担10/10

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

| 事業内容  | 金額    | 事業内容の詳細      |
|-------|-------|--------------|
| 報償費   | 3,270 | 外部講師謝金       |
| 旅費    | 1,348 | 外部講師旅費等      |
| 消耗品費  | 1,182 | 研究活動費等       |
| 役員費   | 232   | 講習会料等        |
| 保険料   | 158   | 生徒保険料        |
| 使用料   | 500   | バス借上げ等       |
| 備品購入費 | 540   | 研究機材等        |
| 委託料   | 260   | 外部への講座・研修委託料 |
| 負担金   | 10    | 大会参加費        |
| 合計    | 7,500 |              |

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

#### ・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針1 ギフへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成

目標2 「ふるさと岐阜」を学びふるさと教育の充実

目標4 優れた才能や個性を伸ばす教育の推進

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和4年度からの新学習指導要領実施に備え、各教科での学習を実社会での問題発見・解決に活かしていくための、教科横断的・探究的な教育（STEAM教育）を推進する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名                  | 事業開始前<br>(R2) | R3年度<br>実績 | R4年度<br>目標 | R5年度<br>目標 | 終期目標<br>(R5) | 達成率  |
|----------------------|---------------|------------|------------|------------|--------------|------|
|                      |               |            |            |            |              |      |
| 教科横断的・探究的な教育を実施する高校数 | 未集計           | 63         | 63         | 63         | 63           | 100% |

○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

|       |   |
|-------|---|
| 令和2年度 |   |
| 令和3年度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元大学や企業と連携し、AIプログラミングやデータ分析、3D CAD、3Dプリンター等のICT技術や機器を活用して、地域課題を解決する取り組みを実施</li> <li>・科学、農業、情報科学、デザイン等、多様な分野で、ICT機器を用いた探究活動を実施した。</li> </ul> |
|       | 指標① 目標：63 実績：63 達成率：100%  |
| 令和4年度 | 令和6年度当初予算にて追加   |
|       | 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %   |

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

|   |   |
|---|---|
| <p>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)<br/>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>  |   |
| (評価)<br>3   | <p>AIやIoT等の急速な発展により社会が激しく変化する中、課題の発見・解決や社会的な価値を創造する資質・能力を育成する必要があるため。</p> |
| <p>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)<br/>3：期待以上の成果あり<br/>2：期待どおりの成果あり<br/>1：期待どおりの成果が得られていない<br/>0：ほとんど成果が得られていない</p> |   |
| (評価)<br>2   | <p>地域の課題を発見・解決する探究的な学習を通して、主体的・対話的で深い学びのための取り組みが、各校で展開できている。</p>          |
| <p>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)<br/>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>  |   |
| (評価)<br>2   | <p>整備されたICT環境により、オンラインで外部機関や他校の生徒と連携するため。</p>                             |

### (今後の課題)

|   |
|---|
| <p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項<br/>「ふるさと教育」を充実・深化し、教科横断的・探究的な教育（STEAM教育）の推進が必要である。</p> |
|---|

### (次年度の方向性)

|   |
|---|
| <p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか<br/>新学習指導要領実施とともに、先導的な取組みを先行実施し、その成果を各校に反映・展開する。</p> |
|---|

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

|                                    |       |
|------------------------------------|-------|
| <p>組み合わせ予定のイベント<br/>又は事業名及び所管課</p> | 【〇〇課】 |
| <p>組み合わせる理由<br/>や期待する効果 など</p>     |       |